

カンマームジーク@アルティ

Kammer musik

—オーボエとともに—

2018年5月13日(日) 15:00開演 (14:30開場)



チェロ：河野文昭
(カンマームジーク@アルティ主宰)

オーボエ：青山聖樹
(NHK交響楽団 首席奏者)

ヴァイオリン：玉井菜採
(ブラハの春国際コンクール 優勝)

ヴィオラ：大野かおる
(ターティス国際コンクール 特別賞)



府民ホール“アルティ”という、優れた音響と雰囲気を持つこのホールで、皆様と共に音楽の奥深い世界を味わうシリーズの第4回目です。

「室内楽＝カンマームジーク」というジャンルは決して派手ではありませんが、古今の作曲家が、ある意味で最も音楽的に深い作品を書き残している世界と言えます。

プログラムは、①古今の名曲と、②ポピュラーでなくとも聴く価値のある曲、で構成。今回はオーボエを中心とした室内楽、①はこのジャンルの代表曲であるモーツァルトの四重奏曲、②は名手の演奏に触発されオーボエという楽器を愛したブリテンとイサン ユンの作品、加えて演奏機会は少ないものの、喜びにあふれる音楽を3つの弦楽器に託したベートーヴェンの作品を、それぞれお楽しみいただきます。

河野文昭

*カンマームジーク (Kammermusik) とはドイツ語で「室内楽」のこと。

楽 曲 目 録

◆ L. v. ベートーヴェン

弦楽三重奏曲ト長調 Op.9-1

◆ B. ブリテン

オーボエと弦楽三重奏のための「幻想曲」 Op.2

オウイディウスによる6つのメタモルフォーゼンより(オーボエ独奏)

◆ I. ユン

オーボエとチェロのための「東西の2つのミニアチュア」(1994)

◆ W.A. モーツァルト

オーボエ四重奏曲ヘ長調 Kv.370

会場：京都府立府民ホール“アルティ”

[入場料] 全席自由 一般=3,500円 / 学生=2,000円

(アルティメイト一般=3,000円 / 学生=1,800円)